



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS
 コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,839	38.7	184		134		185	
2020年3月期第1四半期	4,633	19.0	830	392.5	765	396.7	433	521.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 210百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 464百万円 (597.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	11.78	
2020年3月期第1四半期	26.77	

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	17,864	7,605	42.6
2020年3月期	17,332	8,288	47.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,605百万円 2020年3月期 8,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		30.00	30.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想には株式公開20周年記念配当20円を含みます。詳細は、2020年2月26日公表の「株式公開20周年記念配当を含む次期配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や消費者マインドの回復が不透明であり、現段階で合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の算定が合理的に可能となった段階で、速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	16,626,375 株	2020年3月期	16,626,375 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	866,975 株	2020年3月期	866,160 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	15,760,038 株	2020年3月期1Q	16,211,892 株

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては[添付資料]P3.「1.経営成績等の概況(3)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞し、店舗における対面販売、サービス提供に重点を置く当社グループは極めて厳しい環境下での業務運営となりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高28億39百万円（前年同期比38.7%減）、営業損失1億84百万円（前年同期は営業利益8億30百万円）、経常損失1億34百万円（前年同期は経常利益7億65百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は1億85百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益4億33百万円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、経営管理上の観点から事業間のシナジー強化のため、「ブライダルジュエリー事業」の報告セグメントの名称を、「ジュエリー・アート事業」に変更し、従来、「フィンテック事業」に含まれていたアート事業の報告セグメント区分を「ジュエリー・アート事業」に、「その他事業」に含まれていた一部の事業について、報告セグメントの区分を「フィンテック事業」に変更しております。また、各報告セグメントの業績をより適切に評価するために、従来、各報告セグメントに配賦していなかった全社費用の一部を合理的な配賦基準に基づき各報告セグメントに配賦しております。

以下の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

① ジュエリー・アート事業

当第1四半期連結累計期間におけるジュエリー・アート事業の売上高は23億23百万円（前年同期比39.0%減）、セグメント利益は10百万円（前年同期比98.8%減）となりました。緊急事態宣言期間中も含め、受注したお客さまへの商品お渡しを最優先に万全の予防策を講じて店舗営業を継続してきましたが、来客数は激減したため大幅な減収減益となりました。ジュエリー前期受注分の売上寄与やアートの展示即売会等もあり、黒字確保はしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大は収束が見通せず未だ予断を許さない状況にあります。

一方で、成長戦略の柱である出店、改装などの店舗施策については、かかる状況下におきましても計画どおり着実に実行いたしました。新規の店舗展開として、2020年4月に「銀座ダイヤモンドシライシ」「エクセルコダイヤモンド」統合店を大分にオープンしました。また、高松、心斎橋（大阪）、岡山、札幌、松山の既存の「銀座ダイヤモンドシライシ」を4月から6月にかけて順次リニューアルし、「エクセルコダイヤモンド」を併設した統合店としました。2020年6月末における「銀座ダイヤモンドシライシ」の国内店舗は45店舗、海外店舗は7店舗、「エクセルコダイヤモンド」の国内店舗は36店舗、海外店舗は1店舗となりました。

② ヘルス&ビューティー事業

当第1四半期連結累計期間におけるヘルス&ビューティー事業の売上高は4億98百万円（前年同期比35.0%減）、セグメント損失は1億48百万円（前年同期はセグメント利益12百万円）となりました。

ジュエリー・アート事業と同様に来客数が激減し、大幅減収、赤字計上を余儀なくされました。2020年6月末における国内店舗は25店舗、海外店舗は2店舗であります。

③ フィンテック事業

当第1四半期連結累計期間におけるフィンテック事業の売上高は一百万円（前年同期は一百万円）、セグメント損失は8百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

アート市場が実質機能停止の状況下、アートファンド事業は動きがなく、新たに始動した「ラ・パルレ」売上に係る自社クレジット事業についても本格稼働は第2四半期連結会計期間以降の見込です。

④ その他事業

当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は39百万円（前年同期比37.1%減）、セグメント損失は8百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）となりました。

その他事業は、そのほとんどがスポーツ用品関連事業です。ゴルフ用品メーカー「CRAZY」ブランド本格展開の拠点として5月に銀座本店をオープンしました。今後順次、新商品をリリースしていきます。

(注) 各セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比2億5百万円増加(前連結会計年度末比1.6%増)し、132億49百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加2億75百万円並びに商品及び製品の増加2億66百万円がありました一方で、現金及び預金の減少3億52百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比3億25百万円の増加(同7.6%増)し、46億14百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)並びにリース資産(純額)などによる有形固定資産の増加3億9百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比5億31百万円増加(同3.1%増)し、178億64百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比9億10百万円増加(前連結会計年度末比11.3%増)し、89億49百万円となりました。これは、短期借入金の増加8億28百万円及び前受金の増加2億38百万円がありました一方で、支払手形及び買掛金の減少1億51百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比3億4百万円増加(同30.3%増)し、13億10百万円となりました。これは、リース債務の増加1億27百万円、及び長期借入金の増加90百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比12億15百万円増加(同13.4%増)し、102億59百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比6億83百万円減少(前連結会計年度末比8.2%減)し、76億5百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失1億85百万円及び剰余金の配当4億72百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は42.6%(前連結会計年度末は47.8%)となりました。

(3) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や消費者マインドの回復が不透明であり、現段階で合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の算定が合理的に可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,931,810	2,579,235
受取手形及び売掛金	1,202,573	1,478,038
商品及び製品	8,305,177	8,571,422
仕掛品	76,036	68,619
原材料及び貯蔵品	259,580	258,026
前払費用	138,380	144,447
その他	372,288	396,284
貸倒引当金	△241,805	△246,138
流動資産合計	13,044,043	13,249,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	588,451	705,937
機械装置及び運搬具（純額）	8,969	8,349
工具、器具及び備品（純額）	751,873	782,726
土地	400,880	400,880
リース資産（純額）	139,160	282,059
建設仮勘定	7,350	26,088
有形固定資産合計	1,896,685	2,206,042
無形固定資産		
のれん	302,708	297,428
その他	58,421	54,783
無形固定資産合計	361,130	352,211
投資その他の資産		
長期貸付金	699,740	684,140
繰延税金資産	191,554	182,358
敷金及び保証金	1,168,844	1,168,685
その他	564,509	614,874
貸倒引当金	△594,010	△593,880
投資その他の資産合計	2,030,639	2,056,177
固定資産合計	4,288,454	4,614,431
資産合計	17,332,497	17,864,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	260,416	109,343
短期借入金	3,822,000	4,650,000
1年内返済予定の長期借入金	574,624	538,734
リース債務	43,390	75,100
未払金及び未払費用	727,225	639,700
未払法人税等	863,918	906,536
前受金	1,469,344	1,707,454
その他	277,844	322,359
流動負債合計	8,038,764	8,949,229
固定負債		
長期借入金	459,823	550,604
リース債務	107,240	234,801
退職給付に係る負債	213,387	210,079
その他	224,857	314,651
固定負債合計	1,005,308	1,310,136
負債合計	9,044,072	10,259,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,192	2,376,192
利益剰余金	3,927,100	3,268,569
自己株式	△630,022	△630,528
株主資本合計	8,290,523	7,631,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△79	9
為替換算調整勘定	△2,019	△26,492
その他の包括利益累計額合計	△2,098	△26,483
純資産合計	8,288,424	7,605,002
負債純資産合計	17,332,497	17,864,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,633,812	2,839,910
売上原価	1,623,111	1,114,876
売上総利益	3,010,700	1,725,034
販売費及び一般管理費	2,180,585	1,909,197
営業利益又は営業損失(△)	830,115	△184,163
営業外収益		
受取利息	43	3,880
為替差益	—	25,336
助成金収入	—	29,424
その他	1,333	1,555
営業外収益合計	1,376	60,197
営業外費用		
支払利息	8,870	10,212
貸倒引当金繰入額	5,895	—
為替差損	49,324	—
その他	1,511	71
営業外費用合計	65,601	10,283
経常利益又は経常損失(△)	765,890	△134,248
特別利益		
固定資産売却益	1,328	18
特別利益合計	1,328	18
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	767,218	△134,230
法人税、住民税及び事業税	267,858	42,298
法人税等調整額	65,384	9,196
法人税等合計	333,243	51,494
四半期純利益又は四半期純損失(△)	433,975	△185,725
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	433,975	△185,725

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	433,975	△185,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	88
為替換算調整勘定	30,073	△24,473
その他の包括利益合計	30,073	△24,384
四半期包括利益	464,049	△210,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464,049	△210,109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリ ー・アート 事業	ヘルス&ビ ューティ ー事業	フィンテッ ク事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,807,254	764,494	—	62,063	4,633,812	—	4,633,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	730	3,339	—	202	4,271	△4,271	—
計	3,807,985	767,833	—	62,266	4,638,084	△4,271	4,633,812
セグメント利益又は損 失(△)	853,998	12,465	△7,681	1,468	860,250	△30,135	830,115

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用△30,135千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー・アート 事業	ヘルス&ビューティー 事業	フィンテック 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,323,317	477,426	—	39,166	2,839,910	—	2,839,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	379	21,496	—	—	21,875	△21,875	—
計	2,323,697	498,922	—	39,166	2,861,786	△21,875	2,839,910
セグメント利益又は損 失(△)	10,536	△148,483	△8,955	△8,709	△155,611	△28,551	△184,163

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用△28,551千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、当社グループが行う事業をより明確に表現するために、「全身美容事業」及び「アート事業」の報告セグメントの名称を、「ヘルス&ビューティー事業」及び「フィンテック事業」に変更しております。また、従来、「その他事業」に含めていた一部の事業について、事業化の見込みがたったことにより管理所轄の見直しを行い、報告セグメントの区分を「フィンテック事業」に変更しております。

当第1四半期連結会計期間より、経営管理上の観点から事業間のシナジー強化のため、「ブライダルジュエリー事業」の報告セグメントの名称を、「ジュエリー・アート事業」に変更し、従来、「フィンテック事業」に含まれていたアート事業の報告セグメント区分を「ジュエリー・アート事業」に、「その他事業」に含まれていた一部の事業について、報告セグメントの区分を「フィンテック事業」に変更しております。また、各報告セグメントの業績をより適切に評価するために、従来、各報告セグメントに配賦していなかった全社費用の一部を合理的な配賦基準に基づき各報告セグメントに配賦しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称及び区分並びに変更後の利益又は損失の算定方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。